

## 中国における鳥インフルエンザの状況

北京事務所

### 鳥インフルエンザの流行状況

報道のとおり、3月末から中国各地に鳥インフルエンザ（H7N9型）の感染が流行してきましたが、最近では新たな感染者が確認されない地域が増えるなど、一方的な感染拡大の傾向に変化が現れてきたのではないかと今後の推移に期待をしています（注）。

米保健社会福祉省管轄のアメリカ疾病予防管理センター（CDC）は10日、5月以降感染ペースが鈍化している理由の一つに、気温上昇を挙げています。従来型の鳥インフルエンザウィルス同様の季節性があるとみているようで、夏の到来とともに終息して欲しいものです。また、気温上昇だけではなく、CDCは、中国当局が家禽取引市場を閉鎖するなど積極的な感染拡大防止措置を講じ、それらが効果を上げていていると評価しています。

現時点（2013年5月20日現在）でも人から人への感染が確認されていないことから、普段から家禽に接する農家の方や食鳥を扱う業者の方でないかぎり、日常生活を送る上では、個人が過剰に心配する必要はないと、私は考えています。

### 風評被害が発生

何を隠そう実は、中国国内でも、鶏肉や鶏卵の消費が落ち込んでおり、米国の有名なチェーン店にすら売上に影響が出ているなどの報道が相次いでいます。

連日のように新たな感染者や死者が報道されていた先月と比べると、報道のペースからも事態は落ち着いたように見えますが、このまま終息していくことを祈るしかありません。

### 冷静な対応が必要

北京では、日本大使館や日本人会の方々が、さまざまな方法で今回の鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。

感染が拡大しないことと、罹患された方々のご快癒をお祈りするとともに、この事案が中国と日本の交流に影響を与えませんようにと心から願わざるを得ません。中国国内、中国国外の皆さんが、この事態に対し、冷静な対応を取られることを切に希望するばかりです。

事務所としても、過度に恐れず、厚生労働省、大使館といった信頼できる情報源から情報・知識を得て、効果的な予防対策を奨励・実施し、もし罹患したら早期の医療措置をとるという基本を守るよう、皆が協力してこの局面を乗り切っていきたいと思っております。

（平澤次長 兵庫県派遣）

---

注：3月31日に最初の感染者確認が発表された。中国での感染者数は5月20日中国現地時間16時現在、36人死亡・130人感染（中国国家衛生・計画出産委員会発表情報）。